

VRモニタ

zSpace 200のご紹介



【販売代理店】



アトリビュート株式会社

〒108-0072 東京都港区白金3丁目17番-10-106号

TEL:03-4405-8920 HP:<http://www.attribute-jp.com>

E-Mail:st-saito@attribute-jp.com

zSpace社について

- 開発元のzSpace社(アメリカ)は、米CIAのベンチャーキャピタルからの出資を受けて、2007年に設立。
- サンタクララ(カリフォルニア)に本社を構え、30件以上のVR関連特許を保有(現在本社はサンノゼ)。
- 文教向けモデルのzSpace100を始めとして、その後200, AIOを中心に、アメリカの小中高校、大学でSTEM教育の教材として導入され、現在は裸眼立体視用ラップトップタイプのInspireを販売中(導入リスト <http://zspace.com/customers#/view>)。
- 日本での販売当初は、エンハンスモデルのzSpace200を、富士通株式会社が日本国内総代理店として、日本国内工場でノックダウン生産し、保守・サポート体制まで、日本品質で提供していたものの、2020年以降撤退。

製品特徴

1. 24インチ 円偏光方式立体視ディスプレイ

円偏光方式を採用し、使用時の準備は、電源不要・軽量の偏光メガネを装着するだけです。デバイス装着の手間はかかりません。

2. 高精細 フルHD表示

高解像度(1920x1080)立体ディスプレイは、左右の目それぞれにフルHD画像を表示し、高精細な立体視を実現します。

3. モーショントラッキングによる、自然な視野

自然で高品質な3次元空間トラッキング機能を提供します。センサーを使ったフルモーション視差によって、ユーザは簡単な頭の動作によって物体を見まわしたり、様々な角度から見る事ができます。

4. 専用スタイラス

専用のスタイラスにより、表示物が手元に存在するような操作性を実現します。

5. 容易なセットアップ

容易なセットアップが可能です。数分でセットアップが完了し、直ぐに操作を開始できます



zSpace 200

ハードウェアの特徴

- 解像度1920x1080(フルHD) 3D立体ディスプレイ
- ヘッドトラッキング機能搭載
- シャッター式に比べ、目に負担が少ないパッシブ型偏光メガネを採用
- 触れる、書くを実現する、6自由度のスタイラス・インターフェイス
- 各種周辺機器に対応する統合USBハブ
- VESAマウント対応

セット内容

1. zSpace200ディスプレイ
2. 3D偏光メガネ(裸眼用)
3. 3D偏光メガネ(メガネ用)
4. オブザーバー用2Dメガネ
5. スタイラス
6. 電源アダプタ
7. 電源ケーブル
8. DisplayPortケーブル+USB接続ケーブル

※接続先の PC が別途必要となります。



利用環境

演算用ワークステーション(PC) システム要件(最低条件)

- CPU: Intel Core i3以上 推奨: Core i7 2.2Ghz以上
- RAM: 8GB以上推奨
- OS: Windows 10
- GPU:
 - NVIDIA Quadro K2000以上
 - AMD Radeon では事前検証必要
 - ※ Quadroでの稼働実績が多いため、Quadroをお勧めいたします。



※ 表示性能要件は表示するアプリケーションに依存します。

アプリケーション開発環境

- 開発社向けサイト zSpaceforDevelopers - <http://developer.zspace.com>
- SDK/Pluginが提供される開発プラットフォーム
 - [SDK]C/C++
 - [Plugin]Unity

C/C++



